■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

付属ソフトウェア（ImageMixer for HDD Camcorder）のサポート情報
http://www.pixela.co.jp/oem/sony/j/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください）

テクニカルインフォメーションセンター
●ナビダイヤル 0570-00-0066
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
●携帯電話・PHSでのご利用は 0466-38-0253
（ナビダイヤルが使用できない場合はこちらをご利用ください）
<電話受付時間>月～金曜日　午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日　午前9時～午後5時
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

ImageMixer™ for HDD Camcorder

ImageMixer for HDD Camcorderに関するお問い合わせ窓口
ピクセラユーザーサポートセンター
【電話番号】06-6633-3900
<電話受付時間> 月～日曜日　午前9時～午後5時（ただし、年末、年始、祝日を除く）

修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引き取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

SONY HANDYCAM DCR-SR60

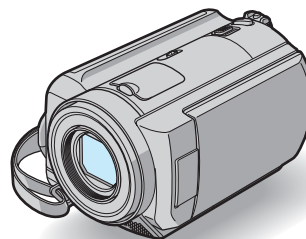
SONY

2-887-134-**01**(1)

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

取扱説明書

DCR-SR60

⚠ **警告** **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「ハンディカム ハンドブック」（PDF）もあわせてご覧ください

付属のCD-ROMにPDF形式で収録されている「ハンディカム ハンドブック」では、本機の詳細な活用方法を説明しています。

⚠警告 安全のために

→30～31ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや充電器などの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら

1. **電源を切る**
2. **電池をはずす**
3. **テクニカルインフォメーションセンターに連絡する**

裏表紙に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

1. **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。**
2. **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
3. **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
4. **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険
この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告
この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意
この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意」をご覧ください(26ページ)。
- 本機の電源ランプ(8ページ)やアクセスランプ*が点灯中に本機からバッテリーやACアダプターを取り外すと、ハードディスクが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権保護のための信号が記録されている映像を本機で録画することはできません。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを保存してください。画像データはパソコンを使ってDVDに保存することをおすすめします*。ビデオ/DVD機器で画像データを保存することもできます*。
- 撮影後は定期的に保存することをおすすめします。

カメラに振動や衝撃を与えないでください

- 本機のハードディスクが認識されなくなったり、記録や再生ができなくなることがあります。

落下検出について

- 落下による衝撃から内蔵ハードディスクを保護するため、本機は[落下検出]機能*を搭載しています。そのため、本機が落下状態になったり、無重力状態になると、ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、繰り返し落下状態を検出した場合は、撮影や再生が停止することがあります。

本機の温度に関するご注意

- 本機の温度が高すぎたり、低すぎたりすると、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面にメッセージが表示されます(25ページ)。

パソコンと接続したときのご注意

- パソコンから本機のハードディスクをフォーマットしないでください。正常に動作しなくなります。

高地などでの使用に関するご注意

- 気圧の低い場所(海抜3,000メートル以上)では本機の電源を入れないでください。ハードディスクを破損する恐れがあります。

カメラの廃棄/譲渡に関するご注意

- 本機で[HDD初期化]*やフォーマットを行っても、ハードディスク内のデータは完全には消去されないことがあります。本機を譲渡するときは[HDDデータ消去]*を行って、ハードディスク内のデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。内蔵されたハードディスクの破壊によって、ハードディスク内のデータの復元を困難にすることができます。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 本書の説明に使用しているパソコンの画面は、WindowsXPのものです。お使いのOSによって画面表示は異なります。

* 「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

目次

準備する

撮る/見る

故障かな？と思ったら

その他

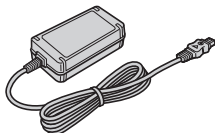
商標について

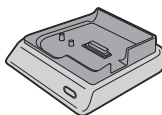
- "ハンディカム"、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- "メモリースティック　デュオ"、MEMORY STICK DUOはソニー株式会社の商標または商標登録です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- ImageMixer for HDD Camcorderは株式会社ピクセラの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタルステレオクリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。
- DVD-R、DVD-RW、DVD+RWロゴは商標です。
- Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshはApple Computer, Inc.の米国およびその他の国における商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。

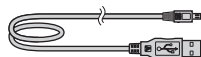
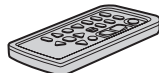
その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では.TM、®マークは明記していません。

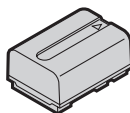
準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
（　）内は個数。

ACアダプター（1）（6ページ）

電源コード（1）（6ページ）

ハンディカムステーション（1）（6ページ）

AV接続ケーブル（1）（16ページ）

USBケーブル（1）

ワイヤレスリモコン（1）

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

リチャージャブルバッテリーパック
NP-FP50（1）（7ページ）

CD-ROM（1）（17ページ）
– 「ImageMixer for HDD Camcorder」（ソフトウェア）
– 「ハンディカム ハンドブック」（PDF）

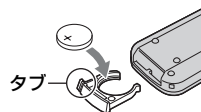
取扱説明書 <本書>（1）

保証書（1）

リモコンについて

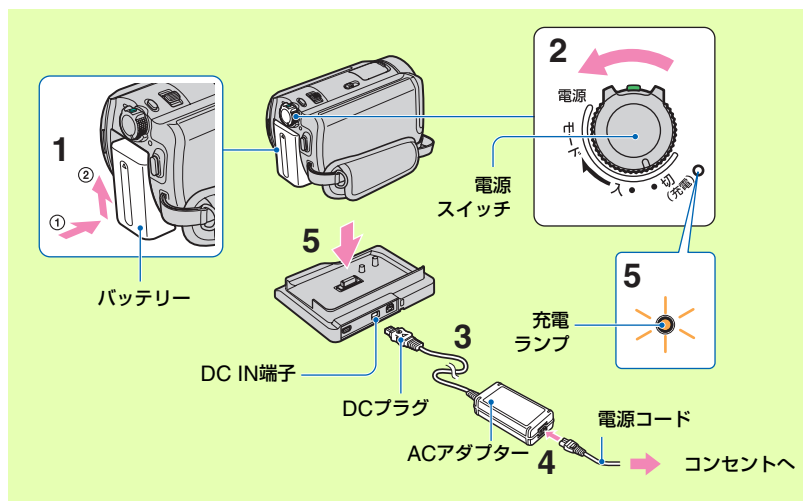
絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
② ＋面を上にして新しい電池を入れる。
③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

準備する

準備2:バッテリーを充電する

1
②
①
バッテリー
5
2
電源
モード
入
切(充電)
電源スイッチ
5
充電ランプ
3
DC IN端子
DCプラグ
ACアダプター
4
電源コード
コンセントへ

本機で使えるバッテリーは、専用の”インフォリチウム”バッテリー(Pシリーズ)です。

1 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

2 電源スイッチを「切(充電)」(お買い上げ時の設定)にする。

3 ACアダプターのDCプラグの▲マークを上にして、ハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

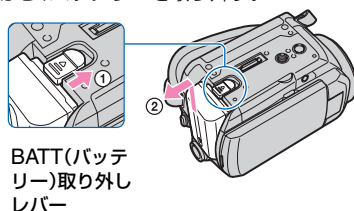
4 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

5 本機をハンディカムステーションに取り付ける。

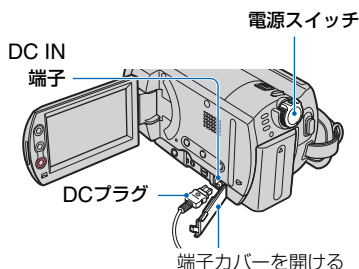
充電ランプが点灯し、充電が始まる。充電ランプが消えたら充電終了です(満充電)。本機をハンディカムステーションから取り外してください。

バッテリーを取り外すには

電源スイッチを「切(充電)」にする。BATT(バッテリー)取り外しレバーをずらしながら、バッテリーを取り外す。

BATT(バッテリー)取り外しレバー

- バッテリーは、本機の電源ランプ(8ページ)が点灯していないことを確認してから取り外してください。

ACアダプターのみで充電するには

電源スイッチを「切(充電)」にした状態で、本機のDC IN端子に直接ACアダプターをつないで充電する。

付属バッテリーNP-FP50での充電/撮影/再生時間

充電時間:バッテリーを使い切った状態からのおよその時間

撮影/再生時間:満充電からのおよその時間

(単位:分)

充電時間(満充電)	125
撮影可能時間[1]	
連続撮影時	100
	105
実撮影時[2]	55
	55
再生可能時間[3]	115

1) それぞれの時間は次の条件によるものです([録画モード]は[HQ])。
上段:液晶画面バックライトが[入]のとき
下段:液晶画面バックライトが[切]のとき

2) 実撮影時とは、録画スタンバイ、電源スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

3) 液晶画面バックライトが[入]のとき。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切(充電)」にしてから行ってください。
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。

充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃(10~30℃が推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

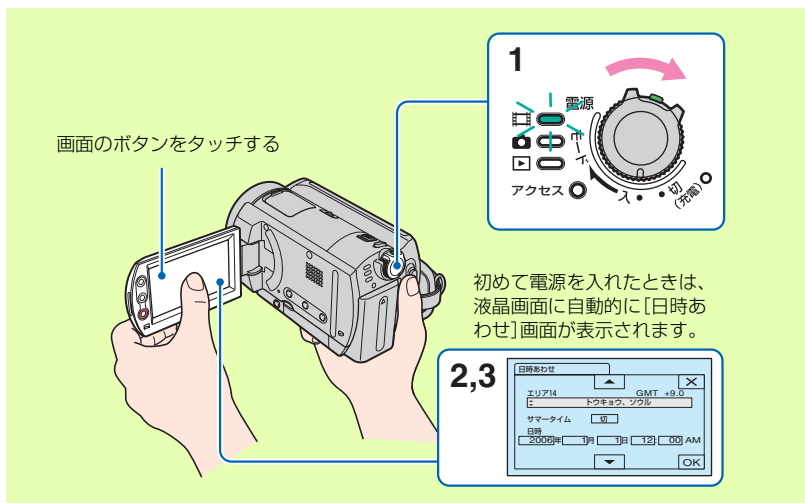
お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

リチウムイオン電池

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

準備3：電源を入れて、日付/時刻をあわせる

1 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを矢印の方向にずらして、本機の電源を入れる。

撮影や再生するときは、該当の電源ランプが点灯するまで電源スイッチを矢印の方向へ繰り返しずらす。

（動画）：動画を撮影するとき

（静止画）：静止画を撮影するとき

（見る/編集）：撮影した動画や静止画を本機の画面で見るときや、画像を編集/削除するとき

2 ▲/▼をタッチしてエリアを選び、OKをタッチ。

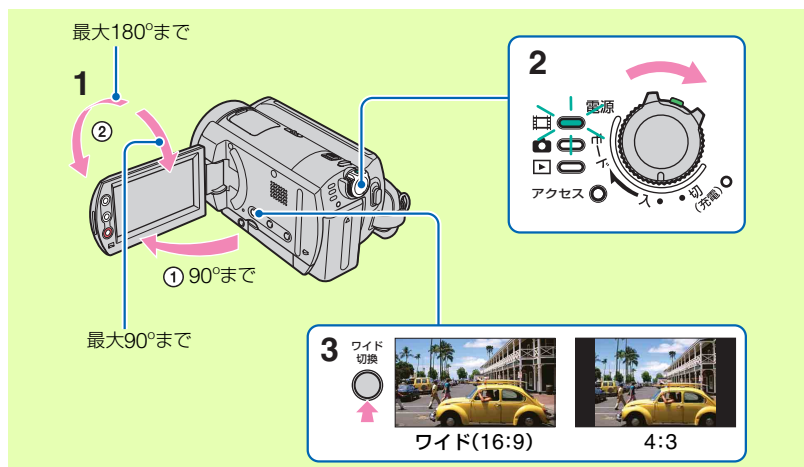
3 同様にサマータイム、[年]、[月]、[日]、時、分を設定して、OKをタッチ。

時計が動き始める。

- 本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 日付/時刻は撮影時には表示されません。自動的に記録され、再生時に表示させることができます。

日付時刻を設定しなおすときは

P.メニュー → [セットアップ] → 時間設定 → [日時あわせ]で設定できます（20ページ）。

準備4：撮影前の調整をする

1 液晶画面を見やすく調節する。

液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

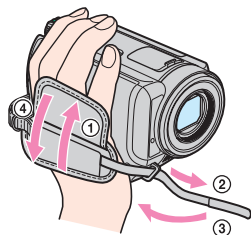
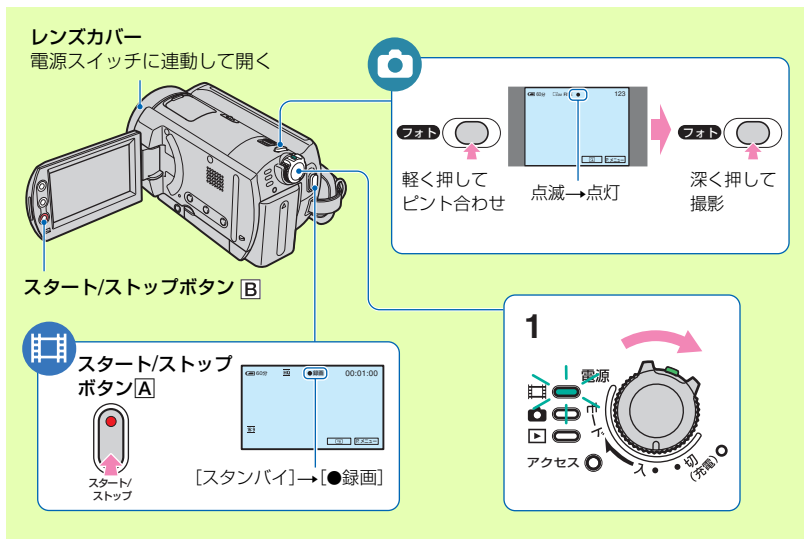
2 電源スイッチを繰り返しずらして、ランプを点灯させる。

（動画）：動画を撮影するとき
（静止画）：静止画を撮影するとき

- （静止画）ランプを点灯させると、画像の比率が自動的に4:3に切り換わります。

3 ワイド切換ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。

4 ベルトを締めて正しく構える。

ベルトをイラストの順番でしっかり締め、正しく構えます。

撮る

1 電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、ランプを点灯させる。

「切(充電)」から電源を入れるときは、緑のボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

2 撮影を始める。

動画のとき

スタート/ストップボタンA(または B)を押す。
撮影をやめるときは、もう一度押す。

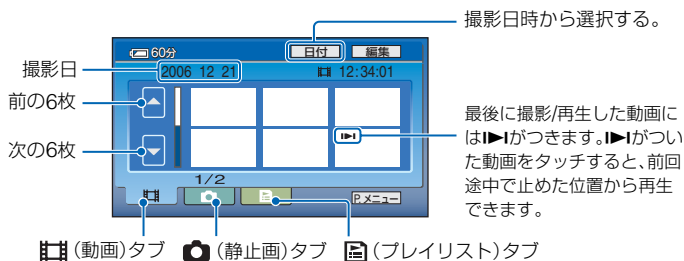
静止画のとき

フォトボタンを押す。
「カシャ」と鳴り、▮▮▮▮が消えると記録される。

- 撮影終了後にアクセスランプが点灯しているときは、ハードディスクにデータを書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取り外さないでください。
- 動画と静止画は同時に撮影できません。
- 本機のハードディスクに[HQ]画質で7時間20分程度撮影できます。撮影可能時間は被写体の状態によって変動します。
- 動画の連続撮影が可能な時間は、約13時間です。

見る

1 電源スイッチを繰り返しずらして、▶（見る/編集）ランプを点灯させる。

液晶画面にビジュアルインデックス画面が表示される。

2 再生を始める。

動画のとき

（動画）タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

画像の先頭/前の動画へ

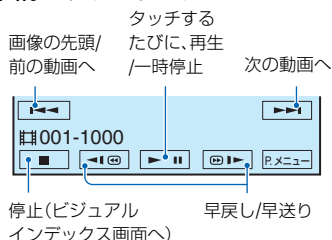
タッチするたびに、再生/一時停止

次の動画へ

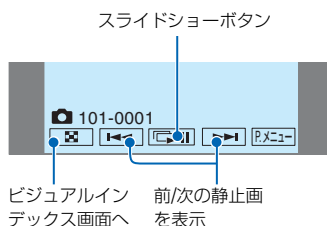
001-1000

P.メニュー

停止（ビジュアルインデックス画面へ）

早戻し/早送り

選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻る。

静止画のとき

（静止画）タブをタッチし、見たい画像をタッチする。

- 動画再生の一時停止中に ◀I⏪ / ⏩I▶ をタッチすると、スロー再生が始まります。
- ◀I⏪ / ⏩I▶ は1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速、3度タッチすると約30倍速、4度タッチすると約60倍速で動作します。
- ハードディスクからデータを読み出すときに、アクセスランプが点灯/点滅します。

動画の音量を調節する

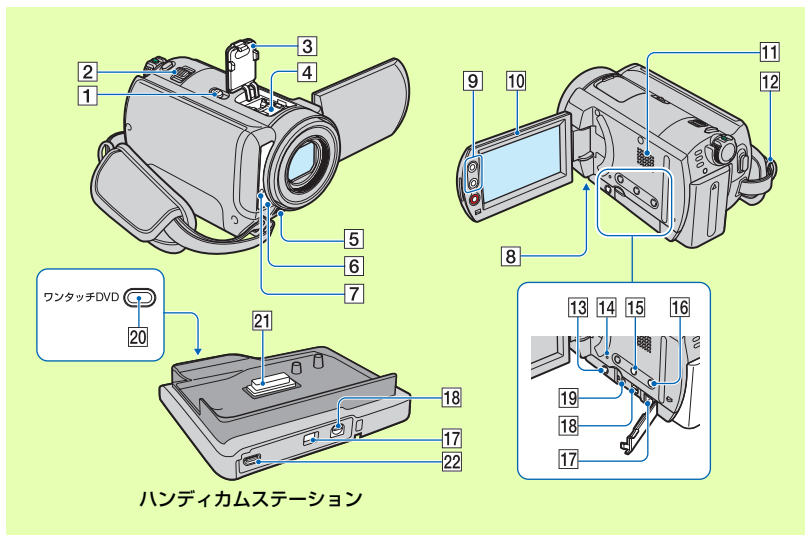
P.メニュー →［音量］をタッチし、－ / ＋ をタッチして調節する。

- P.メニュー で見つからないときは［セットアップ］から選びます（22ページ）。

撮る/見る

本体各部の名前と役割

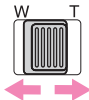
ワンタッチDVD

ハンディカムステーション

[撮る]とき

1 NIGHTSHOT PLUSスイッチ
[入]にすると、暗い場所で撮影できる。
（ と[“NIGHTSHOT PLUS”]が表示される。）

2 ズームレバー
ずらすとズームする。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

W:広角
広範囲を撮る

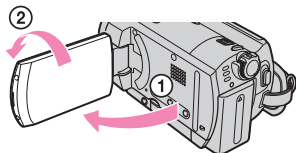
T:望遠
拡大して撮る

5 内蔵ステレオマイク
音声を記録する。

6 リモコン受光部
リモコンからの信号を受ける。

7 録画ランプ
録画時に赤く点灯する。本機のハードディスクやバッテリーの残量が少なくなると点滅する。

8 三脚用ネジ穴（本体底面）
三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を取り付ける。

9 ズームボタン
押すとズームする。

10 液晶画面
90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回して（②）、自分撮り（対面撮影）できる。

12 ショルダーストラップ取り付け部
ショルダーストラップ（別売り）を取り付ける。

13 逆光補正ボタン
押すと が表示され、逆光を補正する。解除するにはもう1度押す。

14 RESET(リセット)ボタン

押すと、日時を含めすべての設定が解除される。

15 画面表示/バッテリーインフォボタン

画面表示を切り換えたり、バッテリーの残量を確認できる。

16 シンプルボタン

押すと、本機のほとんどの設定を自動化して、簡単に操作(シンプル操作)できるようになる。シンプル操作中は操作できないボタンがある。

[見る]とき

2 ズームレバー

9 ズームボタン

画像を1.1～5倍の範囲でズーム(再生ズーム)できる。

① 拡大したい画像を表示する

② T(望遠)で画像を拡大する。
画面に枠が表示される。

③ 画面中央に表示したい部分をタッチ。
タッチした部分が画面中央に移動する。

④ W(広角)/ T(望遠)で画像の大きさを調節する。

終了するには、[終了]をタッチする。

11 スピーカー

再生時の音声を聞くことができる。

16 シンプルボタン

[撮る]ときと同じ。

外部機器をつなぐとき

17～19…端子カバーを開ける

3 シューカバー

アクティブインターフェースシューを使うときに開ける。

4 アクティブインターフェースシュー

Active Interface Shoe

専用マイクやフラッシュ(別売り)などを使うときに、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができる。

17 DC IN端子

ACアダプターのDCプラグをつなぐ。

18 A/V端子

AV接続ケーブルをつなぐ。

19 REMOTE端子

別売りのアクセサリーを接続する。

20 ワンタッチDVDボタン

パソコンとつないでDVDを作成する。

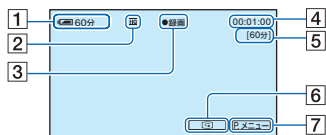
21 インターフェースコネクタ

本機とハンディカムステーションを接続する。

22 ψ(USB)端子

USBケーブルをつなぐ。

画面表示の意味

動画を撮影中

1 バッテリー残量の目安

2 録画モード（HQ / SP / LP）

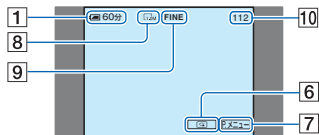
3 撮影状態（[スタンバイ]/[● 録画]）

4 カウンター（時：分：秒）

5 撮影可能時間

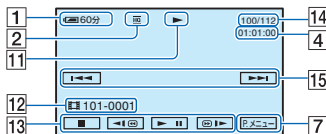
6 レビューボタン

7 パーソナルメニューボタン

静止画を撮影中

8 画像サイズ

9 画質（[FINE]/[STD]）

10 撮影可能枚数

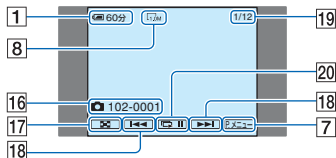
動画を再生中

11 再生表示

12 記録フォルダ/ファイル名

13 動画操作ボタン

14 再生中の動画の番号/記録している動画の数

15 前の画像/次の画像ボタン

静止画を再生中

16 記録フォルダ/ファイル名

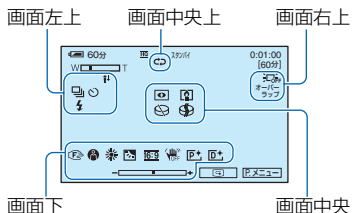
17 ビジュアルインデックス表示ボタン

18 前の画像/次の画像ボタン

19 再生中の静止画の番号/記録している静止画の数

20 スライドショーボタン

液晶画面の表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上

表示	意味
	セルフタイマー撮影
BRK	連写/ブラケット撮影
	フラッシュ
	マイク基準レベル低

画面中央上

表示	意味
	スライドショー繰り返し設定

画面右上

表示	意味
ホワイトフェーダー ブラックフェーダー オーバーラップ ワイプ	フェーダー
OFF	液晶バックライト切
OFF	落下検出切
	落下検出

画面中央

表示	意味
	NightShot plus
S	Super NightShot plus
	Color Slow Shutter
	PictBridge接続中
	警告

画面下

表示	意味
P	ピクチャーエフェクト
D	デジタルエフェクト
	手動フォーカス
	プログラムAE
	逆光補正
	ホワイトバランス
16:9	ワイド(16:9)切換
OFF	手ぶれ補正切
	フレキシブルスポット測光/カメラ明るさ

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日時/カメラデータとして確認できます。

画像を削除する

1 **ビジュアルインデックス画面から動画または静止画を表示する。**

2 **[編集]→[削除]をタッチし、削除したい画像をタッチ。**

選んだ画像に✔がつく。

3 **[OK] → [はい]をタッチ。**

すべての動画または静止画を一括削除する

手順**2**で[編集]→[全削除]をタッチし、画面の指示に従う。

日付ごとに削除する

① ビジュアルインデックス画面で[日付]をタッチし、削除したい撮影日をタッチ。

② [OK]→[編集]→[この日を全て削除]→[はい]の順にタッチ。

撮影した画像を確認して削除する

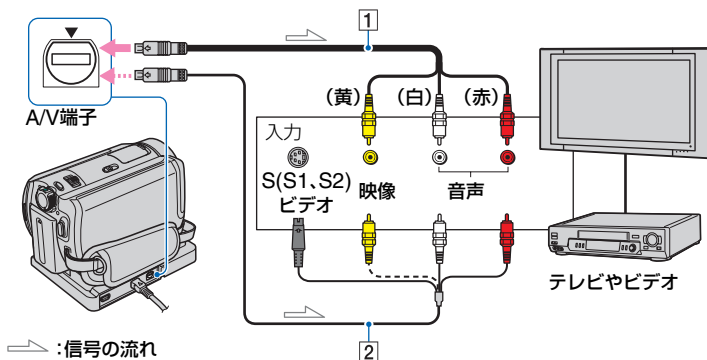
直前に撮影した画像を確認して、そのまま削除できます。

① 電源スイッチを（動画）または（静止画）にして、をタッチ。

② をタッチ。

③ [はい]をタッチ。

テレビにつないで見る

AV接続ケーブル（付属）（1）、またはS映像端子付きAV接続ケーブル（別売り）（2）で本機をテレビやビデオの入力端子につなぎます。詳しくは「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください。

パソコンを活用して楽しむ

付属のCD-ROMには、以下が収録されています。

–「ハンディカム ハンドブック」(PDF)
　本機の楽しみかたを紹介するハンドブックです。

–「ImageMixer for HDD Camcorder」
　本機とパソコンをつないでパソコン上で画像を見たり/編集したり/DVDを作ったりするためのソフトウェアです。

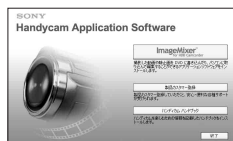
以下の手順にしたがって、お手持ちのパソコンにインストールしてください。

「ハンディカム ハンドブック」(PDF)を見る

ご覧になるにはAdobe Readerが必要です。

■ Windowsをお使いの場合

① パソコンの電源を入れる。

② パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。
　インストールの選択画面が表示される。

③ [ハンディカム ハンドブック]をクリック。
　「ハンディカム ハンドブック」のインストール画面が表示される。

④ [日本語]とお使いの機種名を選択し、[ハンディカム ハンドブック(PDF)]をクリック。
　インストールが開始される。終了すると、デスクトップに「ハンディカム ハンドブック」のショートカットが表示される。
　• お使いの機種名は、本機の底面に記載されています。

⑤ [終了]→[終了]をクリックし、パソコンからCD-ROMを取り出す。

■ Macintoshをお使いの場合

① パソコンの電源を入れる。

② パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

③ CD-ROM内の「Handbook」フォルダから「JP_SR60」フォルダを開き、「Handbook.pdf」をパソコンにドラッグアンドドロップ。

インストールしたら、「Handbook.pdf」をダブルクリックすると、ハンドブックをご覧になれます。

付属ソフトウェアをインストールする

「ImageMixer for HDD Camcorder」はMacintoshには対応しておりません。本機をMacintoshにつないで使用するには、下記のホームページで紹介している対応ソフトウェアを使用してください。

• Macintoshで必要な環境についても、下記のホームページをご覧ください。

ピクセラホームページ:
http://www.pixela.co.jp/oem/sony/j/
対応ソフトウェア:
– Capty MPEG Edit EX(編集ソフト)
– Capty DVD/VCD 2(DVDオーサリングソフト

■ 使用環境

付属のソフトウェアを使うには、下記のパソコン環境が必要です。

OS:Windows 2000 Professional (Service Pack3以降)/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional

- 上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。上記OSでもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

CPU：Pentium III 800MHz以上（Pentium4 1.7GHz以上を推奨します。）または同等のプロセッサー

必要なソフトウェア：DirectX 9.0c以降（DirectXテクノロジに対応しておりますので、お使いの際はDirectXが組み込まれている必要があります。）

サウンドカード：16ビットのステレオサウンドカードおよびスピーカー

メモリー：Windows 2000 Professionalの場合：128MB以上（256MB以上を推奨）
Windows XP Home Edition / Professional Editionの場合：256MB以上（512MB以上を推奨）

ハードディスク：インストールに必要な容量：300MB以上
作業フォルダとして必要な容量：14GB以上（二層式DVDを使用する場合は28GB以上）

- 画像をパソコンに取り込むときは、上記の他に画像の保存用の容量が必要です。

ディスプレイ：4MBのVRAMを搭載したビデオカード、解像度は1024×768ドット以上、HighColor（16ビット カラー 65 000色）。800×600ドット未満、256色以下では正常に動作しません。

USB端子：標準装備（USB2.0推奨）

- カメラはHi-Speed USB（USB2.0準拠）に対応しています。Hi-Speed USB（USB2.0準拠）対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な画像転送（Hi-Speed転送）が行えます。Hi-Speed USB（USB2.0準拠）に未対応のUSBインターフェースに接続した場合、USB1.1相当の転送速度（full-speed転送）になります。

ディスクドライブ：DVD作成可能なディスクドライブ

- 上記環境を満たしたすべてのパソコンについての動作を保障するものではありません。

■ インストール手順

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストールは不要です。

① パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

② パソコンの電源を入れる。
- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

③ パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。
インストールの選択画面が表示される。

④ [ImageMixer for HDD Camcorder]をクリック。
インストール画面が表示される。

インストール画面が表示されないときは、次の操作を行ってください。

❶ [スタート]→[マイコンピュータ]の順にクリック。（Windows2000の場合は、デスクトップ画面の[マイコンピュータ]をダブルクリック。）

❷ [CAMCORDERSOFT（E:）]（CD-ROM）*をダブルクリック。
* ドライブ文字（（E:）など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

❸ [install.exe]をダブルクリック。

⑤ [インストール]をクリック。

⑥ [日本語]を選び、[次へ]をクリック。

⑦ [次へ]をクリック。

⑧ 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]にチェックを入れ、[次へ]をクリック。

⑨ インストール先を選択して、[次へ]をクリック。

⑩ [NTSC:主に日本、アメリカなどの方式です。]にチェックを入れ、[次へ]をクリック。

⑪ [インストール準備の完了]画面の[インストール]をクリック。

ImageMixer for HDD Camcorderのインストールが始まります。

⑫ もし[Microsoft(R) DirectX(R)をインストールしています]画面が表示されたら、DirectX 9.0cをインストールするために以下の手順を行う。表示されない場合は、手順⑬に進む。

❶ 使用許諾契約の内容をよく読んでから、[次へ]をクリック。

❷ [次へ]をクリック。

❸ [完了]をクリック。

⑬ [はい、今すぐコンピュータを再起動します]がチェックされていることを確認して、[完了]をクリック。

パソコンの電源がいったん切れたあと、自動的に電源が入ります(再起動)。

インストールが完了すると、デスクトップ画面に[ImageMixer for HDD Camcorder]と[ImageMixer保存先フォルダ]のショートカットが表示されます。

⑭ パソコンからCD-ROMを取り出す。

多彩な機能を使いこなすーセットアップ

1 電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、ランプを点灯させる。

:「動画」の設定
:「静止画」の設定
:「見る/編集」の設定

電源
モード
アクセス
入
切(充電)

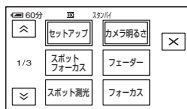
2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

灰色で表示されるセットアップ項目は、使用できません。

■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うセットアップ項目へのショートカットが登録されています。

- 詳しくは「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

① P.メニュー をタッチする。

② 希望のセットアップ項目をタッチする。
画面にないときは、⌃/⌄ をタッチして表示させる。

③ 希望の設定にし、OK をタッチする。

■ セットアップ項目を変更するときは

パーソナルメニューに登録されていないセットアップ項目も設定できます。

① P.メニュー →[セットアップ]をタッチ。

② 設定するセットアップ項目を選ぶ。
▲/▼をタッチして選び、OK をタッチして決定する(手順③も同様の操作です)。

③ 設定する項目を選ぶ。

- 設定する項目をタッチしても選べます。

④ 希望の設定にする。
設定し終わったら、OK → ✕ (閉じる)の順にタッチして、セットアップ項目画面を消す。
設定を変更しないで戻るときは、↩ をタッチ。

■ シンプル操作中にセットアップ項目を変更するときは

P.メニュー は表示されません。[セットアップ]をタッチして、セットアップ項目を表示させてください。

セットアップ項目一覧

電源ランプの点灯位置によって、操作可能なセットアップ項目が異なります。**操作できない項目は、本機の液晶画面上でグレーで表示されます。**さらに詳しい情報は、「ハンディカム ハンドブック」(PDF)をご覧ください。

カメラ設定

プログラムAE:	場面に合わせた効果的な撮影をします。
スポット測光:	画面の中で露出を調整する場所を設定します。
カメラ明るさ:	撮影時の画像明るさの調整方法を設定します。
ホワイトバランス:	撮影環境に合わせて色合いを調整します。
オートシャッター:	シャッタースピードの自動調整を設定します。
スポットフォーカス:	画面中央から外れた部分でピントを合わせます。
フォーカス:	ピント合わせの方法を設定します。
フラッシュ設定:	外付けのフラッシュの設定をします。
SUPER NSPLUS:	NightShot plusよりもさらに高感度で撮影します。
NSライト:	NightShot plus撮影時、赤外線ライトを点灯させます。
COLOR SLOW S:	薄暗い場所でも明るくカラーで撮影します。
セルフタイマー:	動画撮影時のセルフタイマーを設定します。
セルフタイマー:	静止画撮影時のセルフタイマーを設定します。
デジタルズーム:	デジタル処理を使ってズームします。
手ぶれ補正:	撮影時の手ぶれを補正します。

静止画設定

連写:	連続撮影(連写)の設定をします。
画質:	撮影する静止画の画質を設定します。
画像サイズ:	撮影する静止画の画像サイズを設定します。

ピクチャーアプリ

フェーダー:	効果を入れながらつなぎ撮りします。
デジタルエフェクト:	デジタル効果を使って撮影します。
ピクチャーエフェクト:	特殊効果を使って撮影します。
録画操作:	他の機器の画像を本機で録画するときの操作画面を表示します。
USB機能選択*:	パソコン/プリンターなどを接続するときの機能設定をします。
デモモード:	本機の機能のデモンストレーションを行います。

HDD設定

HDD初期化:　内蔵ハードディスクを初期化(フォーマット)します。
HDD情報:　内蔵ハードディスクの空き容量などの情報を表示します。
落下検出:　落下状態を検知したとき、データ保護のため、本機を動作しなくなるように設定します。
HDDデータ消去:　内蔵ハードディスク上のデータの復元を困難にします。
– ACアダプターをつないだ状態で、画面表示/バッテリーインフォボタンを押しながら電源を入れたときのみ表示されます。

基本設定

録画モード:　撮影する動画の画質を設定します。
音量:　動画再生時の音量を調整します。
バイリンガル:　他の機器から録画した二重音声を本機で再生するときの設定をします。
マイク標準レベル:　記録時のマイクレベルを設定します。
パネル設定:　液晶画面の設定をします。
TVタイプ:　出力する画像の縦横比を設定します。
USBスピード:　USBのデータ転送速度を設定します。
日付/カメラデータ表示:　再生時に撮影日時やカメラデータを表示します。
表示枚数:　ビジュアルインデックス画面の表示枚数を設定します。
残量表示:　ハードディスク内の動画撮影用の残量表示を設定します。
リモコン:　リモコン操作を受け付けるか設定します。
録画ランプ:　録画中に本体前面の録画ランプを点灯するか設定します。
操作音:　操作時に音を出すか設定します。
画面表示出力:　画面表示の出力先を設定します。
セットアップ操作方向:　セットアップ画面の項目の動作方向を設定します。
自動電源オフ:　操作をしないとき、自動的に電源オフにします。
キャリブレーション:　液晶画面の反応位置を調整します。

時間設定

日時あわせ:　日付/時刻をあわせます。
エリア設定:　海外での使用時、時計を止めずに時差補正をします。
サマータイム:　夏時間(サマータイム)に設定します。

* 本機とパソコンなどをUSBケーブルで接続すると、自動的に表示されます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、
テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

修理に出される場合のご注意

- 修理内容によってはハードディスクの初期化または交換が必要となることがあります。その場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されますので、修理をお受けになる前にハードディスク内のデータを保存（バックアップ）してください（データの保存（バックアップ）について詳しくは、「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください）。修理によってデータが消去された場合の補償については、ご容赦ください。
- 修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために、必要最小限の範囲でハードディスク内のデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。それでも操作できないときは、RESET（リセット）ボタン（13ページ）を先のとがったもので押す（パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしてから電源を入れる。

ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は、使える機能が限られます。シンプル操作を解除する。シンプル操作について詳しくは、「ハンディカム ハンドブック」（PDF）をご覧ください。

電源が入らない。

- バッテリーが取り付けられていない。バッテリーを取り付ける（6ページ）。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（6ページ）。
- ACアダプターのプラグがコンセントから外れている。コンセントにつなぐ（6ページ）。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（6ページ）。

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更するか、もう1度電源を入れる、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーが消耗している、または消耗間近。バッテリーを充電する（6ページ）。

スタート/ストップボタンやフォトボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっている。電源スイッチをずらして、（動画）または（静止画）のランプを点灯させる（8ページ）。
- 直前に撮影した画像を本機のハードディスクに書き込んでいる。[キャプチャー] または ▮▮▮▮ 表示中はフォトボタンを押せません。
- 本機のハードディスクの空き容量がない。不要な画像を削除する。または [HDD初期化] を行う。
- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を入れた状態でしばらく放置する。それでも操作できないときは一度電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしてから電源を入れる。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしてから電源を入れる。
- 連続撮影可能時間は約13時間です。

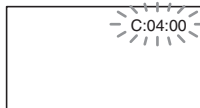
セットアップ項目が灰色で表示される。

- その項目は選択できません。

ブザーが5秒間鳴り続けている。

- 本機の温度が著しく上昇している。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機に異常が発生している。電源を入れなおして再び操作する。

自己診断表示と警告表示

液晶画面には、次のように表示されます。お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□

- "インフォリチウム"以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーを使う*。
- ACアダプターのDCプラグをハンディカムステーションもしくは本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（6ページ）。

C:13:□□ / C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:40:□□/ E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

100-0001（ファイル関連の警告）

遅い点滅

- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル。

（本機のハードディスクに関する警告）*

速い点滅

- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

（本機のハードディスクに関する警告）*

速い点滅

- 本機のハードディスクドライブの容量がいっぱいである。
- 本機のハードディスクドライブに異常が発生した可能性がある。

（バッテリー残量に関する警告）

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがある。

（温度の上昇関連の警告）

遅い点滅

- 本機の温度が上昇中である。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

速い点滅*

- 本機の温度が著しく上昇している。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。

（温度の低下関連の警告）

速い点滅

- 本機の温度が著しく低下している。
  本機を暖める。

（手ぶれ警告）*

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュ（別売り）を使う。
- 手ぶれが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ぶれマークは消えません。

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります。

取り扱い上のご注意

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないで下さい。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、別売りのクリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う
  - ゴムやビニール製品との長時間接触

カメラレンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

主な仕様

システム

映像圧縮方式
MPEG2/JPEG(静止画)

ハードディスク
30GB
容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイルなどを含むため、実際使用できる容量は若干減少する場合があります。

音声圧縮方式
Dolby Digital2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

記録フォーマット
動画
MPEG2-PS

静止画
Exif Ver.2.2[*1]

映像信号
NTSCカラー、EIA標準方式

録画/再生時間
HQ:約440分　SP:約650分
LP:約1 250分

撮影可能カット数/枚数
動画:9 999個
静止画:9 999枚

撮像素子
3.27mm(1/5.5型)CCD固体撮像素子
総画素数:約107万画素
動画有効画素数(4:3):約69万画素
動画有効画素数(16:9):約67万画素
静止画有効画素数(4:3):約100万画素
静止画有効画素数(16:9):約75万画素

レンズ
カール ツァイス　バリオテッサー
フィルター径:30mm
12倍(光学)、24倍/800倍(デジタル)
F値=1.8〜2.5

焦点距離
f(焦点距離)=3.0〜36mm
35mmカメラ換算:
動画撮影時
46〜628.5mm(16:9)[*2]
48〜576mm(4:3)
静止画撮影時
40〜480mm(4:3)
43.6〜523.2mm(16:9)

色温度切り換え
[オート]、[ワンプッシュ]、[屋内](3200K)、[屋外](5800K)

最低被写体照度
15 lx(ルクス)(F1.8)
0 lx(ルクス)(NightShot plus時)

[*1] (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット
[*2] 広角画素読み出しによる実動作値

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

入/出力端子

A/V端子
10ピン特殊コネクター
入力/出力自動切り換え
映像:1 Vp-p、75Ω不平衡
Y出力　1Vp-p、75Ω不平衡
C出力　0.286Vp-p、75Ω不平衡
音声:327mV(47kΩ負荷時)、入力インピーダンス47kΩ以上、出力インピーダン ス2.2 kΩ以下

REMOTE
ステレオミニミニジャック(リモート)端子(ø2.5mm)

液晶画面

画面サイズ
6.9cm(2.7型 アスペクト比 16:9)

総ドット数
123 200ドット　横560×縦220

電源部、その他

電源電圧
バッテリー端子入力7.2V
DC端子入力8.4V

消費電力
2.8W

動作温度
0℃〜+40℃

保存温度
−20℃〜+60℃

外形寸法
69×71×117mm(幅×高さ×奥行き)
(突起部含む)
69×71×117mm(幅×高さ×奥行き)
(突起部含む、付属バッテリーパックNP-FP50装着状態)

本体質量
　約350g（本体のみ）

撮影時総質量
　約390g（バッテリーパックNP-FP50を含む）

付属品
　5ページをご覧ください。

ハンディカムステーション DCRA-C160

入/出力端子

A/V端子
　10ピン特殊コネクター
　入力/出力自動切り換え
　映像：1Vp-p、75Ω不平衡
　Y出力　1Vp-p、75Ω不平衡
　C出力　0.286Vp-p、75Ω不平衡
　音声：327mV（47kΩ負荷時）、入力インピーダンス47kΩ以上、出力インピーダン ス2.2kΩ以下

USB端子
　mini-B

ACアダプター　AC-L25A/L25B

電源
　AC100〜240V、50/60Hz

消費電力
　18W

定格出力
　DC8.4V*

動作温度
　0℃〜+40℃

保存温度
　−20℃〜+60℃

外形寸法
　約56×31×100mm（最大突起部をのぞく）
　（幅×高さ×奥行き）

質量
　約190g（本体のみ）

* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FP50

最大電圧
　DC8.4V

公称電圧
　DC7.2V

容量
　4.9wh（680mAh）

最大外形寸法
　約31.8×18.5×45.0mm
　（幅×高さ×奥行き）

質量
　約40g

使用温度
　0℃〜+40℃

使用電池
　Li-ion

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 修理に出される前に

修理に出される場合のご注意（23ページ）をご覧ください。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→2ページもあわせてお読みください。

⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターや充電器などもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

禁止

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、充電器を使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

禁止

電池などの付属品を飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

指示

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

禁止

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

⚠注意

火災

感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

禁止

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

長期間使用しないときは、電源を外す

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

通電中のACアダプター、充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

禁止

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

電池や付属品、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

指示

電池などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

- バッテリーパックは指定された充電器以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

⚠警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- ボタン電池は充電しないでください。

禁止

⚠注意

- 電池を使い切ったときや、長時間使用しない場合は機器から取りはずしておく。

指示